

## 目標達成計画

事業所名 (株)健康会 グループホームえべつ

作成日: 平成 29年 3月 3日

## 【目標達成計画】

| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題  | 目標   | 目標達成に向けた具体的な取組内容   | 目標達成に要する期間 |
|------|------|---|--|--|------------|
| 1    | 6    | 接遇について、(株)健康会江別エリア全体での目標設定等の取り組みもあり、意識する機会は増え、制止する言葉かけは減ってきているが、依然と無くなっていない。                        | スピーチロックとは何かを理解し、制止言葉の代わりとなる言葉選びができるようになる。また職員間でアドバイスし合えるようになる。 | カンファレンス毎に、具体的な事例を出し合い、本当に制止しなければならない事かを、話し合う。自分が制止され続けたらどんな気持ちか、発表し合う。 | 1年         |
| 2    | 27   | 職員それぞれに担当する入居者を割り当てているが、ケアプランは計画作成担当者が作るものとの認識で、観察し記録することが不十分。その中でモニタリングし今後の対応を考えると「継続」の言葉で済ませてしまう。 | モニタリング、記録の大切さを職員が認識し、誰が見ても様子が伝わる記録を充実させ、今後のケアに繋がる記録を目指す。       | 日々の業務の中で、「いつもと同じ」と済ませず、まずは書くことに慣れる。記録は、「入居者様を守り、職員を互いに守り合うもの」と確認し合う。   | 1年         |
| 3    | 18   | 入居者様の出来ること(家事作業等)を、業務として職員が行っていることがある。どうしたら入居者様が出来るかを考えるより、出来ない理由を探してしまう。                           | 入居者様の出来ることを探す姿勢、一緒に過ごす意識を持つ。                                   | カンファレンス毎に「入居者様の出来たこと」を情報交換し共有する。何が出来るか、どんな働きかけが良いかを話し合う。               | 1年         |
| 4    | 35   | 災害時、ご家族様・地域の方への連絡体制、協力内容が周知されていない。  | ご家族様・地域の方へ協力体制の必要性を理解していただく。                                   | 運営推進会議、広報誌等で災害時対策を伝える。災害時訓練(模擬連絡網訓練・避難訓練等)へ参加していただく。                   | 1年         |
| 5    |      |   |  |  |            |

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入してください。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加してください。